

<参考様式例>

学校番号				
2	3	0	2	8

令和4年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 5 年 3 月 24 日

札幌市立 札幌緑小学校

1 今年度の重点目標

笑顔あふれるあたたかい学校の創造 ～全校で子どもを育てる～

2 本年度の経営方針

子どもたちの夢や目標えお実現する学校づくり ～自己肯定感・自己有用感の育成～

- 子どもたちが行きたくてたまらない学校
- 子供に安心と自信を与える学校
- 保護者や地域に信頼される学校
- チームとして支えあう学校

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	主体的に 学び合う子	子どもたちが主体的に学び、「ききたい」「話したい」と、意欲的に学習へ取り組むことができたか	B	子供の実態を的確につかみ、全員を土台に乗せ、興味関心をもって学習に臨める工夫や、考えなくなる課題、ききなくなる手立てをつくる。教師にとっても、子供にとっても安心感のある授業構築を目指し、6年間を通して自己肯定感・自己有用感を高めていく。	A	A
学校関係者評価委員会 による意見		・一生懸命頑張ったこと、努力したことの成果を適時評価することは、とても重要であると思います。 ・先生の「よく頑張ったな」の何気ない一言が、子どもたちの背中を押してくれます。				

包括的 重点 ■■■■ Iーさ C小つ T中ぼ をーつ 活用し したー た教学 教育び 育ーの のの推 進ス へーメ 情校の 報種活 教間用 育連 （）携	調 和知 の・と 徳れ・ た育 のち	学ぶ力	学力向上 プラン	課題探究的な学習の充 実、思考力・判断力・表現 力の向上を目指し、日常授 業の充実へ向けて取り組む ことができたか	B	目指したい姿がはっきりしていることで、「今日の授業 では、全員に発表させよう」「聞く姿勢づくりに力を入れ よう」と心構えをもって授業準備をし、日々かわること ができた。今後は、一人1台端末を使うことで、個別最適 な学びと協働的な学びの両立を目指していく。	A	A
		豊かな心	豊かな心育成 プラン	自己の生き方を考え、主 体的な判断のもとに行動 し、自立した人間として他 者とともによりよく生きる ための基盤となる道徳性を 養えたか。	A	いじめ・悩みアンケートを年4回実施し、児童一人一人 と担任が話をする機会を設け、その後の教育相談で保護者 との連携を大切に。感染状況に合わせ、縦割り活動や ペア活動を再計画し、異学年で遊んだり、児童委員会を中 心としたあいさつ運動を行い、学校全体へ広げていった。 命を大切にする指導のための教職員研修の充実にも努めた。 今後も他者を尊重し、心を育む指導を充実させていく。	A	A
		健やかな 体	体力向上 プラン	体を動かし元気に外で遊 ぶことを基本に、本校独自 の「朝マッチョ」等で児童 の運動機会を確保し、体力 向上を図れたか。	B	年間を通し、「朝マッチョ」活動を行い、体力向上を目 指してきた。新体力テストを全学年で実施した結果、柔軟 性が向上した。また、隣接する札幌東公園を活用し、多く の子が元気に外で遊ぶことができた。次年度は、中休みを 5分延長し、外遊びと体力向上を目指していく。	A	A
		学校関係者評価委員会 による意見		・「学ぶ力」については、子どもたちの学習活動の状況を見ていて、その成果を感じることが出来ます。 ・「豊かな心」については、学校では挨拶できるが、地域では自分から挨拶できる子は少ない。今後も指導が必要。 ・「健やかな体」については、公園での元気いっぱいの活動をよく拝見しています。				

札幌らしい 特色ある学校 教育	雪国札幌を考 える【雪】	外遊びの推進と雪をテーマにした生活科の学習を充実できたか。	B	学校のグラウンドを開放し、休み時間には、雪だるまや雪合戦、尻滑り等、担任も交えて多くの児童が雪遊びを楽しんでいる様子が見られた。また、1・2年生の生活科を中心に雪を活用した学習に積極的に取り組んだ。次年度も、体力向上プランと運動させながら、活動に幅をもたせ、充実させていく。	A	A
	子どもの 発達への支援	個別指導や別室登校、ク ロームブックの活用など で、特別な支援が必要な児 童や不登校児童の支援を充 実できたか。	A	コロナウイルス感染症の感染拡大防止策により、家族の風邪症状による出席停止や度重なる学級閉鎖により、生活リズムの乱れや精神的な苦痛、家庭の事情などから不登校、または不登校傾向児童の増加が続いている。また、特別な支援が必要な子どもたちも多いが、学校が組織として、子どもたちに関わっていくことができた。今後も継続していきたい。	A	A
	信頼される 学校の創造	社会に開かれ た教育課程プ ラン	B	就学前児童の学校体験や教育相談の充実を図る他、札幌北小・札幌北中・本校のパートナー3校で小中一貫した教育へ向けて実践を重ねてきた。コロナ禍の影響で児童による交流は制限されたが、職員間の連携を進めることができた。	A	A
	教科等の枠組 を越えた教育	進路探究学習 (キャリア教 育)	B	教育課程に位置付け、学習のまとめを卒業に関わる取組の一環として発信する場を設けている。本年度は、サテライトスクールの事業を活用し、JAXA職員をゲストティーチャーとしてお招きすることができた。今後も、体験的な学びを深めていけるよう、外部講師等を充実させていきたい。	A	A
	学校関係者評価委員会 による意見		・「雪国を考える」では、雪遊びを楽しむことを中心に良い取組であると思います。高学年は、地域づくりの一環として除雪のマナーやルールについて実例を見ながら学ぶことも大切かと感じます。 ・夢を考える子どもが、一人でも多く増えるように、外部講師の充実を願います。			